

種まきかきつばたの育て方

種まき時季	種まき時季は3月上旬～3月末、9月末～11月中旬が最適です。種から育てたカキツバタは2年後約20%、3年後100%花が咲きます。
土の種類と種まき容器	種まき用、さしき用土を使用。350×250×70mmのプランターの底に土落下防止用に新聞紙を2枚敷きその上に土を40mmの深さまで入れてジョーロにて水を全体が湿るまでまく。
種まき深さ	湿った土の上に均等に種をまき、その上に15～20mm土をかけ、ジョーロで全体に水をまく。種まき前に種を水に漬けて置く必要はありません。種まきが完了したら種まき日を記入した札を立てること。
水やり	3日に1回水やりし、常に全体が湿った状態に保つことが重要です。プランターの下に水をはる必要はありません。
発芽	10月末種まきすると、3月下旬～4月初旬頃発芽します。発芽を確認したら毎日朝晩水やりして土が常に湿った状態に保つ。発芽率は30～40%。
移植①	かきつばたの苗が約50～100mmに成長したら1苗毎、75mmのポットに移植する。使用する土は花と野菜用土50%と赤玉土50%。移植後はトレーにポットを置き水を常時約20mm以上の高さまで入れる。
移植②	苗が150～200mmに成長したら120mmのポットに移植する。土は花と野菜用土50%と赤玉土50%。かきつばたの根は想像以上に伸びるので苗はポット上面近くに植え、下面に土を十分確保すること。8月～9月の移植はしないこと。
水やり	かきつばたは水生植物で想像以上に水を吸収するので、毎日朝晩水やりしてトレーに水を常時約20mm以上の高さまで確保して下さい。
肥料	移植②後2週間したら苗根元から30～40mm離れた所に有機固形肥料（小粒）を7～8個を20mmの深さの所にまく。肥料はチッ素5：リン酸5：カリ5（この比率に近い有機肥料でOK）肥料を施す時期は3月初旬（開花前）6月中旬（開花後）9月上旬（少し多め）。
水管理	鉢植えで育てる時は、鉢ごと水につけ、株元が必ず水につかるように水位を調節します。地植えの時は、浅めに植えこむか水位を調節し、深く沈み過ぎないように気を付けること。1年を通じ水中に沈めて育成する。
日照	半日以上日が当たる、日当たりの良い場所に置いて下さい。
越冬	屋外にて越冬し、翌年も生育しますので、1年を通じ水を切らさないこと。
株分け	株が込みいってきたら花が咲いた後、葉を半分の高さで切り6月初旬～7月初旬頃に2～3株まとめて株分けし移植して下さい。

☆八橋町にお住まいのかきつばた愛好家の方よりご提供いただきました。